

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2002. 1. 23

参加者 石浦（科学園）高松（仁美小）倉橋（幡多小）
松本（国府小）田辺（福浜小）福井（伊島小）

【自然大好き！】田辺

現在実践中の総合学習の経過報告。子供達の頭の中で活動を意識化させるために自己評価を取り入れる試みをしているそうです。活動の前に子供達と話し合って評価の項目を考え、活動後にその項目で自己評価させる。おもしろい取り組みです。

【しあわせの書】倉橋

『しあわせの書』泡坂妻夫、新潮文庫 何だかあやしげな宗教関係の本のようですが、この本を使うと驚くようなことができるのです。本をむこう向きにしてパラパラパラとめくっていく。誰かに任意のページで「ストップ」の声をかけてもらう。そして、そのページの最初の言葉を覚えてもらい、本をとじる。その間もちろん演者はページを見ない。なのにズバリと当てる。あまりのあざやかさに、みなさんキツネにつままれたようです。

【ベルヌーイの気球】福井

紙風船と糸とペットボトルのキャップで作った気球が空中にプカプカ浮かびます。気球の重さ（重力）とドライヤーの吹き上げる力が釣り合った高さでドライヤーの風の流れに包まれるようにして1か所にとどまるのです。これをベルヌーイの定理と言うそうです。

【北海道の昼の長さ】福井

100円ショップで買った地球儀を日本が真上になるようにして取り付け、南北を合わせて設置すると本物の地球と相似になることは何度も紹介してきましたが、この地球儀とランプを使うと季節による薄明前線（昼と夜の境界線）の仕組みがよく分かります。例えば、春分・秋分は太陽が真東から出て真西に沈むので、朝夕の薄明前線は経線に平行に移動していきます。所が夏場の北半球では、太陽が北東から上るので朝の薄明前線は北に行くほど西にずれ、太陽が北西に沈むので夕の薄明前線は北に行くほど東にずれます。このため北海道では、朝が早く夕方は遅くまで太陽が沈みません。北国の夏は短いけれど日照時間は長く、植物は短期間で成長して子孫を残せるのですね。

【松本先生大好き】松本

山陽新聞の子供がつくるページに『松本先生大好き』という記事が載っていました。ギターを弾いてくれる、ギャグを言ってくれる…など理由は色々ありますが、楽しいネタをたくさん持っているというのが大きいのではないかなと思います。

